

令和6年度 予算のあらまし



猿渡公園は、本市とカナダのミササガ市との友好を記念して整備した公園で、ミササガパークの愛称で親しまれています。令和6年4月にリニューアルオープンし、バーベキュー施設が充実したほか、ベーカリーカフェやイベントプラザなどが併設され、これまで以上に市民の皆さまに親しみのある公園となることが期待されます。

「元気・笑顔・希望のまちづくり」 をめざして

刈谷市長

稲垣 武

Inagaki Takeshi

本年は、元日に能登半島地震が発生し、多くの方が被災され、尊い命が失われるという悲しみの幕開けとなりました。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い被災地の復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。

令和6年度予算は、教育や子育て、高齢者支援などに対する新たなニーズに対応するとともに、道路や公園などの整備、さらには防災対策に取り組むことで、第8次刈谷市総合計画に掲げる施策を積極的に推進し、「日本一安心安全なまち刈谷」と「にぎわいの創出」の実現に向けた予算としております。

また、国は昨年、少子化トレンドの反転を目指して「こども未来戦略」を策定し、今後3年間を集中取組期間として加速度的に施策を推し進めるとしております。本市としても、国の施策に足並みを揃えつつ、子育てM a a Sなど刈谷市独自の新たな取組に果敢にチャレンジしてまいりたいと考えております。

本年度も、市民の皆さまが安心して“元気”に住み続けられ、“笑顔”に満ちあふれ、未来へ“希望”が持てるよう、「人が輝く 安心快適な産業文化都市」の実現をめざし、職員一丸となって各種施策に取り組んでまいります。

この冊子は、本市の各種施策や財政状況をわかりやすくまとめたものですので、活用していただければ幸いです。



目次

予算の規模	1	マネジメント	11
当初予算額・市税の推移（一般会計）	1	主な財政指標の推移	11
一般会計の状況	2	基金の状況	12
都市基盤	4	市債の状況	12
教育文化	6	市民1人当たりの予算額（用途別）	13
産業環境	8	刈谷市の家計簿	13
福祉安心	9		

予算の規模

一般会計の令和6年度当初予算額は689億円で、前年度当初予算額と比較して8.7%の増となり、過去最大であった前年度を上回る予算規模となります。

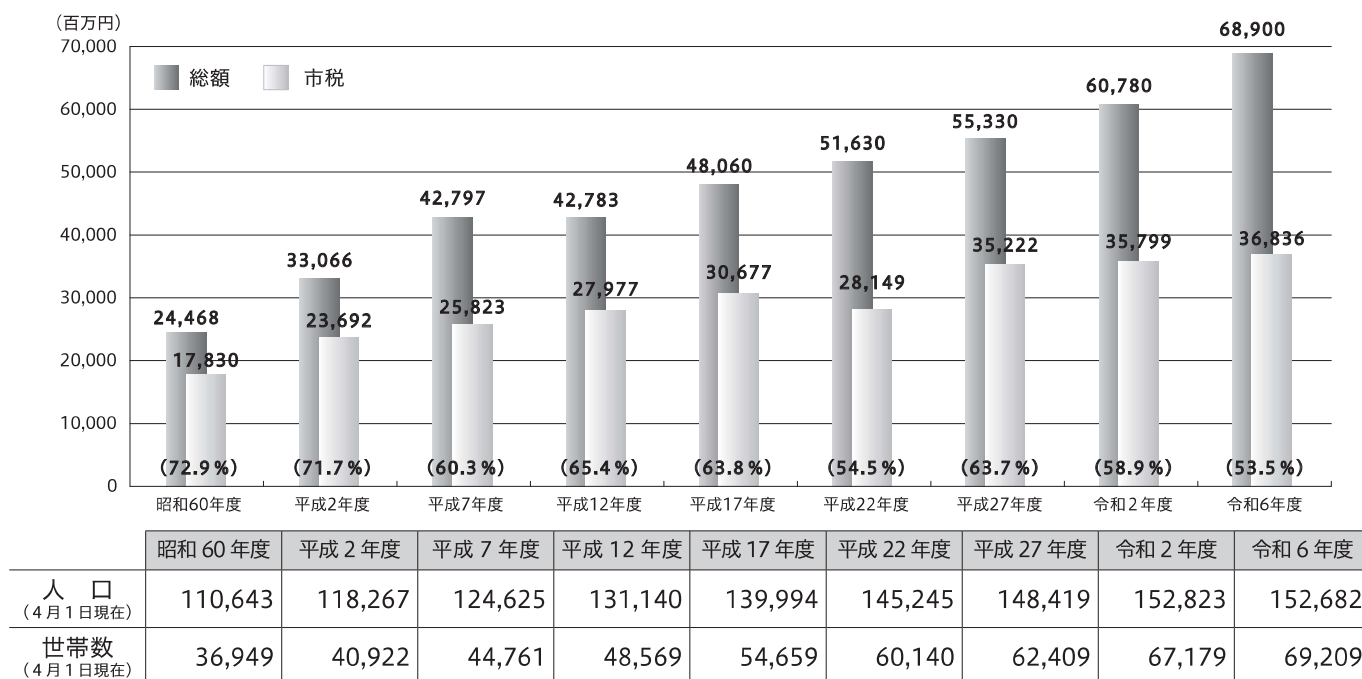
土地区画整理事業、国民健康保険などの特別会計の合計は250億5,409万4千円で、前年度と比較して2.2%の増、水道事業及び下水道事業の企業会計の合計は107億652万5千円で、前年度と比較して0.2%の減です。

一般会計、特別会計及び企業会計の総合計は1,046億6,061万9千円となり、前年度と比較して6.2%の増となります。

(単位：千円、%)

会計名	令和6年度 当初予算額	令和5年度 当初予算額	前年度比	
			差引	伸率
一般会計	68,900,000	63,360,000	5,540,000	8.7
特別会計	25,054,094	24,503,540	550,554	2.2
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業会計	656,935	843,518	△186,583	△22.1
刈谷野田北部土地区画整理事業会計	140,976	121,963	19,013	15.6
国民健康保険会計	11,704,768	11,585,628	119,140	1.0
後期高齢者医療会計	2,234,286	2,200,764	33,522	1.5
介護保険会計	10,317,129	9,751,667	565,462	5.8
企業会計	10,706,525	10,729,971	△23,446	△0.2
水道事業会計	4,528,529	4,464,724	63,805	1.4
下水道事業会計	6,177,996	6,265,247	△87,251	△1.4
合計	104,660,619	98,593,511	6,067,108	6.2

当初予算額・市税の推移（一般会計）

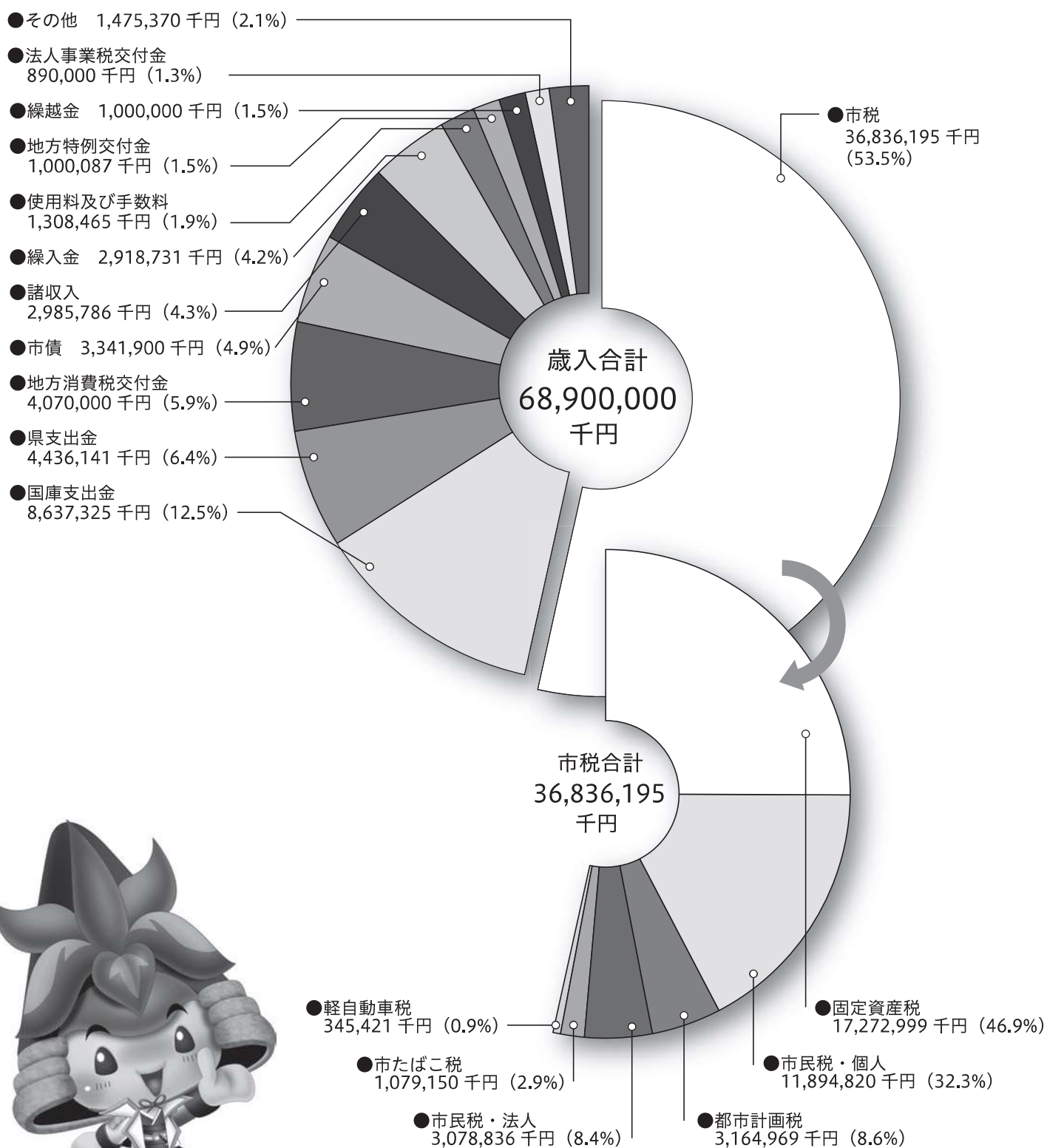


※昭和60年度以降の5年毎の額と令和6年度の額を表記しています。

一般会計の状況

歳入

歳入の根幹である市税は、368億3,619万5千円で前年度当初予算額と比較して0.4%の増を見込んでいます。歳入全体に占める割合は、53.5%です。基金等からの繰入金29億1,873万1千円は、財政調整基金や公共施設維持保全基金、都市交通施設整備基金などを活用しています。市債33億4,190万円は、JR刈谷駅総合改善事業などの財源とします。

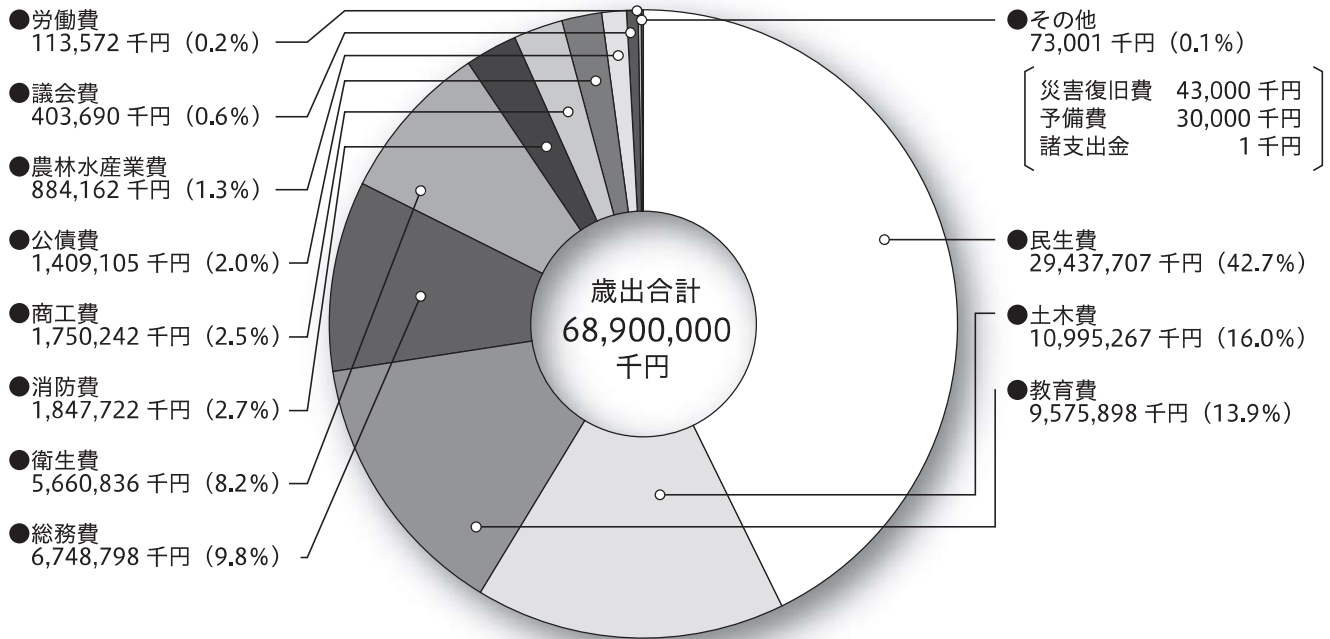


歳出

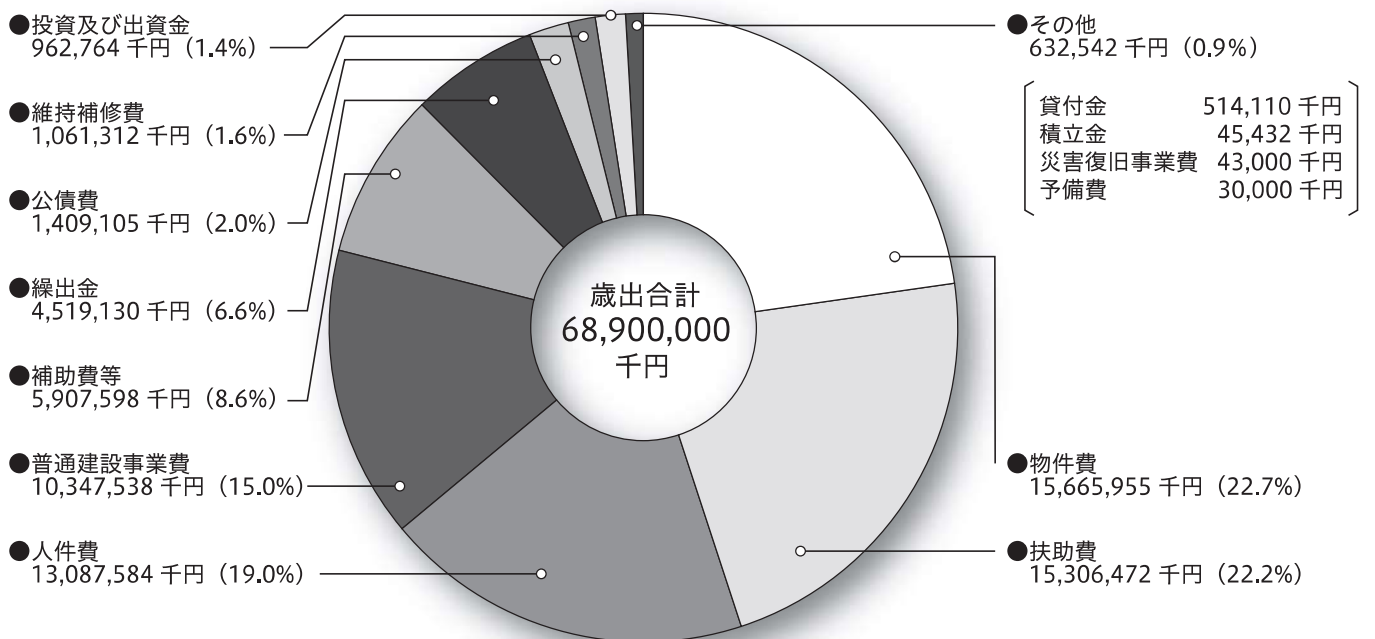
歳出の構成比で最も大きな割合を占めているのは、42.7%の民生費 294 億 3,770 万 7 千円です。その主なものは、児童手当支給事業や私立保育所運営支援事業などです。次に、16.0%の土木費 109 億 9,526 万 7 千円です。そして、13.9%の教育費 95 億 7,589 万 8 千円と続きます。

なお、歳出に占める普通建設事業費などの投資的経費の割合は、15.1%です。

〔目的別内訳〕



〔性質別内訳〕



～安心して暮らし続けられる快適なまちづくり～

市道01-4号線他道路新設改良事業

173,303 千円

円滑な交通と歩行者の安全を確保するため、今川町交差点の形状を適正化するとともに、国道1号に接続する市道01-4号線の右折2車線化を行います。

- 交差点改良工事 1箇所
- 事業箇所 今川町

都市計画道路3・5・561高須線道路新設改良事業

153,710 千円

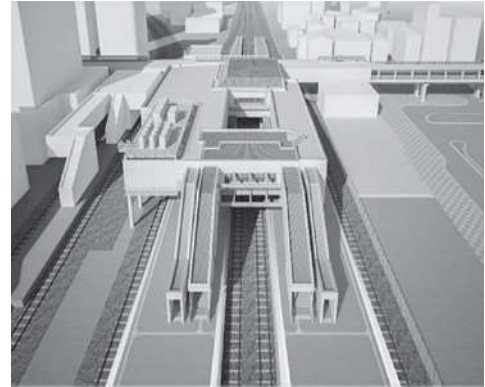
歩行者の安全確保を図るため、道路を拡幅し、バリアフリーに対応した歩道を整備します。

- 橋りょう及び電線類地中化詳細設計
- 事業箇所 住吉町ほか

JR刈谷駅総合改善事業

861,591 千円

JR刈谷駅の安全性確保及び利便性向上を図るため、ホーム拡張、ホームドア設置、コンコース拡張及び改札増設などの駅の改良を行います。



JR刈谷駅（イメージ）

市道01-40号線他道路新設改良事業

1,005,400 千円

慢性的な交通渋滞を緩和し、市街地に流入する通過交通を抑制するため、バイパス機能を持った幹線道路を整備します。

- 継続費 令和4～7年度
総額 2,016,800 千円
- JR工事協定
- 橋りょう工事（上部工）
- 事業箇所 逢妻町ほか



橋りょう（イメージ）

ウイングデッキ整備事業

177,894 千円

刈谷駅周辺の「人を引き寄せる回遊とにぎわいのあるまちづくり」に向けて、安全で快適な歩行空間を形成するため、刈谷駅南北連絡通路を延伸するデッキを整備します。

- 継続費 令和6～8年度
総額 1,357,000 千円
- デッキ整備工事（基礎工）
- 事業箇所 桜町



ウイングデッキ（イメージ）

市道02-14号線他道路新設改良事業

130,000 千円

市民の利便性を向上させるため、一般廃棄物処理場へのアクセス道路及び泉田地区の幹線道路としての道路を整備します。

- 道路新設改良工事 177 m
- 事業箇所 泉田町

快適な都市空間と市内外の円滑な移動環境の整備を進めるとともに、災害などのリスクに強い基盤整備を行うことにより、生活の質を維持・向上させることをめざし、都市と自然が共存した魅力ある住みよいまちづくりを進めます。

公共交通再編事業

42,526 千円

公共交通の更なる利便性向上を図るため、かりまるの路線再編や運営手法の検討及びデマンド交通「チョイソコかりや」の実証実験を行います。

- バス運行計画の策定
 - (1) 路線・ダイヤなどの検討
 - (2) 意見交換会の実施
- デマンド交通の実証実験



公共交通利用促進事業

2,317 千円

市民のおおかけ支援及びかりまるの利用促進を図るため、イベントや啓発を行います。

- アプリを活用した利用促進イベントの実施
- 公共交通の利用促進や先進技術を体感できる啓発ブースの出展など



優良建築物等整備事業

601,400 千円

魅力的な都市空間の創出をめざし、低未利用地の活用やまちなか居住の誘導などを図るため、複合施設を整備する民間事業者に対して支援を行います。

- 刈谷桜町地区
 - (1) 事業費 121,500 千円
 - (2) 地区面積 約 0.3ha
 - (3) 延床面積 約 13,300 m² (20 階建て)
 - (4) 主な用途 商業施設、住宅施設、駐車場
- 刈谷広小路A地区
 - (1) 事業費 479,900 千円
 - (2) 地区面積 約 0.4ha
 - (3) 延床面積 約 15,600 m² (19 階建て)
 - (4) 主な用途 商業施設、住宅施設、駐車場

都市拠点活用推進事業

25,900 千円

刈谷駅周辺の公共空間を積極的に活用することにより活気や魅力を高め、市の玄関口としてふさわしい、にぎわいのある駅前空間を創出します。

- 刈谷駅周辺のイルミネーション
 - (1) 実施期間 11 月中旬～1 月中旬 (予定)
 - (2) クラウドファンディング等の活用検討
- 公共空間の活用検討
- 都市再生推進法人の指定検討



魅力あふれる公園づくり事業

28,332 千円

将来構想を策定した洲原公園、岩ヶ池公園、総合運動公園、亀城公園及びフローラルガーデンよさみの5公園において、誰もが行きたくくなるような公園づくりを効率的かつ効果的に推進し、憩いとにぎわいの場を創出します。

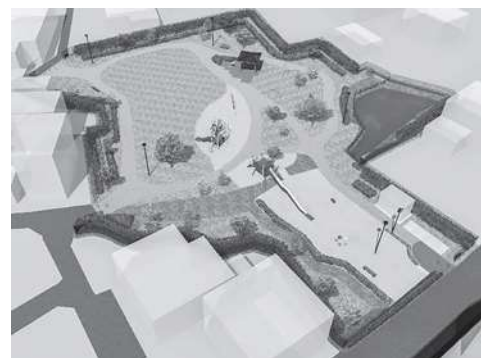
- 構想の実現に向けたロードマップの策定
- 魅力創出に向けたイベントなどの実施

三豊公園整備事業

110,302 千円

子どもの遊び場、地域住民の健康増進及び憩い・交流の場を創出するため、公園を整備します。

- 街区公園整備工事 約 3,300 m²
- 事業箇所 野田町



三豊公園 (イメージ)

～生涯にわたって学び地域への愛着を育むまちづくり～

歴史博物館企画展開催事業

35,306 千円

歴史や文化財にふれる機会を提供するため、刈谷やその周辺の地域の歴史を紹介するほか、さまざまな歴史資料を展示する企画展を開催します。

■めでたきとり展開催事業

- (1) 事業費 12,057 千円
- (2) 会期 4月27日～6月9日

■石器時代を生きる展開催事業

- (1) 事業費 6,108 千円
- (2) 会期 7月13日～8月25日

■土井利位展開催事業

- (1) 事業費 17,141 千円
- (2) 会期 10月5日～11月17日



色絵おしどり香合
(大和文華館蔵)

美術館企画展開催事業

51,708 千円

質の高い美術品や展示物にふれる機会を提供するため、著名な美術家やイラストレーターの企画展を開催します。

■荒井良二展開催事業

- (1) 事業費 25,817 千円
- (2) 会期 4月20日～6月15日

■宇野亞喜良展開催事業

- (1) 事業費 25,891 千円
- (2) 会期 9月14日～11月9日



© Arai Ryōji

「名前の知らないわたしと
誰かが聞いている」
令和5年 荒井良二



© AQUIRAX

「マックスファクター
(Renaissance Collection)」
昭和40年頃 宇野亞喜良

加藤与五郎博士顕彰科学教育振興事業

830 千円

刈谷市名誉市民である加藤与五郎博士の顕彰及び科学教育振興のため、子どもを対象とした科学実験教室などを開催します。

■学校活動応援事業

- (1) 科学実験教室
 - ア 対象 小学5年生
 - イ 会場 各小学校
- (2) 科学実験ショー
 - ア 対象 小中学生
 - イ 会場 産業振興センター

■市民講座開設等事業

- (1) 科学講座
 - ア 対象 小中学生
 - イ 会場 中央生涯学習センター (予定)



拡 部活動指導者活用事業

2,328 千円

部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行を進めるため、学校、外部指導者、総合型地域スポーツクラブなどと連絡調整を行う部活動コーディネーターを新たに配置します。



拡 子ども・若者支援事業

13,814 千円

子ども・若者の健全な育成を図るため、ひきこもりやニートなどの困難を抱える子ども・若者及びその家族を対象とした、専門の相談員による総合窓口を拡充します。

- 対象者 市内在住・在勤で、概ね40歳までの子ども・若者及びその家族
- 実施日 令和6年10月から週6日
(9月までは週2日)
- 場所 子ども相談センター

拡 いじめ及び不登校児童生徒指導事業

2,102 千円

健やかな学校生活を支援するため、小学校に配置されている心の教室相談員の相談時間を各校において年間136時間拡充します。

学力と豊かな心の育成をめざし、学校、家庭、地域との連携による質の高い教育を進め、生涯にわたって学習やスポーツに取り組める機会を多様な形で提供するとともに、本市の歴史・文化の継承と活用により、地域への誇りと愛着を深め、次代を担う人材を育むまちづくりを進めます。

【拡】地域学校協働活動推進事業

3,019 千円

地域と学校双方の活性化及び子どもの学びや体験活動の充実を図るため、既に実施している8小学校と3中学校に加え、新たに7小学校と3中学校に地域学校協働活動推進員を配置します。

- 配置小学校 亀城、小高原、富士松南、富士松東、小垣江、小垣江東、朝日
- 配置中学校 刈谷南、富士松、依佐美



家庭科 裁縫・ミシン補助

住吉小学校擁壁改修事業

168,800 千円

児童の安全を確保するため、校庭南側及び東側の擁壁、法面の改修工事を行います。

- 継続費 令和4～6年度
総額 249,000 千円
- 擁壁改修工事 約210m

富士松市民センター大規模改造事業

610,000 千円

施設の保全及び利便性の向上を図るため、施設の改修を行います。

- 内装の改修、設備の更新及び災害時用発電機の設置

【拡】スポーツ施設管理事業

560 千円

天候などの影響を受けずにグラウンド・ゴルフを実施可能とするため、ウィングアリーナ刈谷及び刈谷市体育館のアリーナに屋内用グラウンド・ゴルフ用具を整備します。



小中学校体育館トイレ等改修事業

317,000 千円

教育環境の向上及び避難所機能の強化を図るため、避難所となっている体育館などのトイレの洋式化、床の乾式化などの改修を行います。

- 小学校
 - (1) 事業費 210,000 千円
 - (2) 対象校 亀城、衣浦、双葉、富士松東、富士松北、日高、かりがね
- 中学校
 - (1) 事業費 107,000 千円
 - (2) 対象校 刈谷東、富士松、雁が音

雁が音中学校大規模改造事業

89,000 千円

施設の保全及び良好な教育環境の維持を図るため、校舎の機能を回復させるとともに、教育環境の変化に適合させるための大規模な改修を行います。

- 南舎の内装及び建具などの改修工事

【拡】国際スポーツ大会等啓発事業

4,500 千円

スポーツ振興を図るため、パリ2024オリンピックに出場するホームタウンパートナーチームの選手などを応援するイベントを開催します。

- パブリックビューイングの開催
- 横断幕・懸垂幕などの掲出



(仮称) 逢妻川河川敷運動広場整備事業

216,490 千円

市民のスポーツニーズへの対応と健康増進を図るため、逢妻川河川敷にサッカー場や多目的広場などのスポーツ施設を整備します。

- 継続費 令和5～6年度
総額 330,000 千円
- 整備工事 約3.8ha
- 事業箇所 逢妻町

～人と技術でにぎわいを創り未来につながるまちづくり～

人と自然が調和し、環境への負荷が少ない持続可能な社会の形成に配慮するとともに、ものづくりによって培ってきた高い技術と能力の蓄積を有効にいかしつつ、農業、商業、工業のバランスが取れた産業の振興を図り、働き続けることのできるにぎわいのある明るいまちづくりを進めます。

新 スタートアップ連携促進事業

10,000 千円

市内中小企業の事業成長促進を図るため、革新的なアイデアや技術を有するスタートアップ企業との連携を促進するためのプログラムやイベントを実施します。

- スタートアップ企業についての理解促進プログラムの実施
- 市内中小企業とスタートアップ企業とのマッチングイベントの開催
- マッチング実施後のトライアル導入などのサポート

産業イノベーション推進事業

38,684 千円

新たな産業やイノベーションの創出を図るため、企業人材及び次世代を担う子どもたちの育成を中心とした多様なプログラムを実施します。

- 人材・次世代育成支援事業の実施
- コワーキングスペースの運営
- 企業のイノベーション推進の支援



CoDoものTech
プロジェクト開催風景

拡 住宅用地球温暖化対策設備 設置費補助事業

11,700 千円

CO₂排出量の削減を図るため、国が定めるZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)基準を満たす高性能外皮などを補助対象設備に追加するとともに、住宅用リチウムイオン蓄電システムの補助上限額を増額します。

- 太陽光発電システム及びHEMSと一体的に設置する高性能外皮など(高断熱外皮、空調設備、給湯設備、換気設備)
 - (1) 補助額 上限 27 万円
- 住宅用リチウムイオン蓄電システム
 - (1) 補助額 上限 15 万円



新 チャレンジショップ事業

2,500 千円

商業の活性化を図るため、市内にて創業又は店舗出店を検討する人が、開店の前段階として事業に挑戦できるチャレンジショップの整備に向けた検討を行います。

- チャレンジショップ整備に向けたワークショップの実施

新 スマート農業総合推進事業

4,000 千円

農作業の省力化及び生産性の向上を図るため、ドローンや自動収穫ロボットなどのスマート農業機器の導入に対して補助を行います。

- 対象経費 機器購入費
- 補助率 3分の1
- 補助額 個人 上限 150 万円
法人 上限 250 万円

拡 食育推進事業

121 千円

健康や栄養についての認識と理解を深め、食への感謝及び関心を高めるため、小学校において料理人などを講師に迎え、味覚の授業を実施します。

- 実施時期 10月から12月までの間
- 実施小学校 富士松東、小垣江東



事業用脱炭素促進設備導入費補助事業

104,626 千円

CO₂排出量の削減を図るため、省エネルギー診断により削減効果が見込まれる設備を導入する事業者に対して補助を行います。

- 対象設備
 - (1) エネルギー効率の向上またはエネルギー転換によりCO₂排出量の削減に寄与する設備
 - (2) 太陽光発電設備などの再生可能エネルギー発電設備
- 補助率 2分の1
- 補助額 上限 1,000 万円

～支え合い誰もが安心して暮らせるまちづくり～

拡 健康診査事業

1,147 千円

虫歯や歯周病の早期発見を図るとともに、定期的な歯科健診受診の動機づけとすため、20歳から70歳の5歳刻みの年齢の人に実施している歯科健康診査に、新たに18歳の人を追加します。



拡 基本健康診査事業

432 千円

胃がん発生の抑制を図るため、39歳以下健康診査において、希望者に実費負担で実施しているピロリ菌抗体検査を、一人一回に限り無料で実施します。

拡 予防接種事業

21,069 千円

帯状疱疹の発症及び後遺症の予防を図るため、50歳以上の人を対象に実施している帯状疱疹予防接種に係る助成額を増額します。

■助成額

- (1) ビケン 上限 4,000 円
(市民税非課税世帯などの人は上限 8,000 円)
- (2) シングリックス (2回接種)
1回当たり上限 10,000 円
(市民税非課税世帯などの人は
1回当たり上限 20,000 円)



幼児園大規模改造事業

680,600 千円

施設の保全及び良好な保育環境の維持を図るため、園舎の機能を回復させるとともに、保育環境の変化に適合させるための大規模な改修を行います。

■刈谷幼児園

- (1) 事業費 319,800 千円
- (2) 園舎の内外装及び設備の改修工事ほか

■小高原幼児園

- (1) 事業費 360,800 千円
- (2) 園舎の内外装及び設備の改修工事ほか

**夢と学びの科学体験館
特別企画展開催事業**

22,500 千円

子どもたちに広く科学の楽しさにふれる機会を創出し、次代を担う人材の育成に寄与するため、春、夏、冬の学校などの長期休業期間を中心に、科学にまつわる企画展を開催します。

- 体験型コンテンツの展示
- プラネタリウム番組の放映

拡 母子健康診査等事業

2,134 千円

市民の利便性の向上と母子保健情報のデジタル化を図るため、母子手帳アプリ「はぴかり」に、妊娠届出アンケートのオンライン申請機能を追加します。



拡 産後ケア事業

2,535 千円

産後うつ予防や乳児への虐待防止を図るため、産科医療機関などで心身のケアや育児のサポートを受けられる産後ケアについて、宿泊型・日帰り型に加え、助産師が自宅を訪れ、より身近で利用しやすい訪問型を実施します。

児童発達支援センター移転整備事業

22,000 千円

通園児の療育環境の改善、保育所などへの訪問支援及び巡回相談支援の充実を図るため、しげはら園を取壊し予定のさくら保育園北園舎跡地へ移転整備します。また、環境負荷の軽減を図るため、建物の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備の導入を行い、ZEB化を実現します。

■実施設計

- 事業箇所 若松町

子育て支援及び保健・福祉サービスの維持・向上を図るとともに、災害や感染症、交通事故、犯罪などに対する安全性を高めることにより、みんなで支え合いながら、多様性が尊重され、誰もが住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

新 市民活動活性化支援事業

10,350 千円

自治会運営に係る負担軽減のため、業務効率化やデジタル化を行う自治会に対して補助を行います。また、市民活動の活性化を図るため、活力ある地域づくりに取り組む自治会などに対して補助を行います。

■自治会業務効率化支援事業補助金

- (1) 対象経費 委託料、備品購入費など
- (2) 補助率 10分の10 (上限30万円)

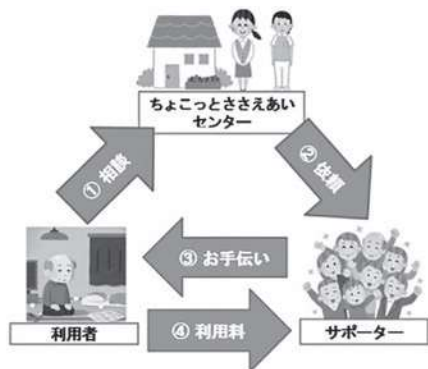
■笑顔あふれる地域づくり補助金

- (1) 対象経費 消耗品費、委託料など
- (2) 補助率 2分の1 (上限15万円)

新 ちょこっとささえあい事業 (介護保険会計含む)

9,058 千円

65歳以上の要支援・要介護認定者及び75歳以上の人が在宅生活で抱えるちょっとした困りごとを解決するため、市民ボランティア活動センター内にちょこっとささえあいセンターを設置し、利用者とサポーターのマッチングを一部の地区でモデル事業として行います。



新 魅力あふれる介護の職場づくり支援事業

60 千円

介護人材の確保及び定着並びに介護職に対するイメージの向上を図るため、介護事業所が実施する職場環境の改善などの優れた取組を表彰します。また、取組内容を広く周知し、他の事業所も同様に改善が図られるよう推奨します。

拡 災害対策管理事業

1,955 千円

災害時のボランティア活動を円滑に進めるため、災害ボランティアセンター運営用の資機材として、ブルーシートやスコップ、土のうなどを新たに整備します。

すぎな作業所等整備事業

591,800 千円

障害者の就労支援及び生活支援の拡充を図るため、老朽化したすぎな作業所を建て替えます。また、環境負荷の軽減を図るため、建物の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備の導入を行い、ZEB化を実現します。

- 継続費 令和5～6年度
- 総額 834,000 千円
- 構造規模 鉄筋コンクリート造
地上2階建て
延床面積 1,756㎡
- 事業箇所 下重原町



すぎな作業所(イメージ)

拡 手話通訳等派遣事業

860 千円

登録手話通訳者の育成を図るため、手話奉仕員養成講座の修了者を対象に、コミュニケーション技術の向上を目的とした講座を開催します。また、手話通訳希望者との意思疎通を円滑に行うため、タブレット端末を介してオペレーターによる手話通訳を受けることができるシステムを導入します。



拡 高齢者日常生活支援事業

798 千円

単身高齢者に対するもしもの時の支援体制を整備するため、現在配布している救急医療情報キットと合わせて保管できる終活情報セットを新たに配布します。

- 対象者 65歳以上のひとり暮らしの高齢者
- セット内容 葬儀会社・納骨先・家財道具処分先などが記入できる用紙、ボトル・玄関貼付用シール、本人携帯用カード、取扱説明書

防災DX推進事業

2,053 千円

防災DXを推進し、危機管理体制及び防災対応の拠点となる災害対策本部の機能強化を図るため、さまざまな情報をAIでリアルタイムに解析し、被害状況を可視化できる情報収集システムを導入します。

～持続的なまちの発展を支える行財政運営～

新たな技術の活用など時代の変化に応じた行財政運営に取り組むとともに、戦略的な情報の発信・収集や多様な主体との協力・連携を推進し、持続的に発展する豊かで魅力あるまちの実現に向けた仕組みづくりを進めます。

スマートシティ推進事業

65,000 千円

地域課題の解決を図り、持続可能なまちづくりをめざすため、民間企業などとの協働のもと、ICTなどの新技術や各種データを活用したスマートシティの取組を推進します。

- スマートシティ推進協議会の運営
- 実証実験の実施
 - (1) 課題解決型実証プロジェクト
 - (2) 国・県の実証事業の活用



拡 刈谷の魅力発信事業

3,350 千円

個人の価値観やライフスタイルの多様化が進む中、定住促進につながる新たなシティープロモーションの試みとして、職員プロジェクトチームが市内を取材して発見した、地域の魅力を活かした暮らし方を提案します。

- 定住促進サイト「MY KARIYA」に魅力的な暮らし方の情報を掲載
- SNSなどを活用した定住促進サイトへの誘導

ICT活用推進事業

38,669 千円

社会情勢が大きく変化する中、持続可能な形で行政サービスを提供し続けるため、新しい情報技術の活用を図り、迅速で的確な行政サービスと業務の効率化を推進します。

- スマホ教室の開催
- 生成AIの利活用
- デジタル人材育成研修の実施

公共施設LED化事業

141,851 千円

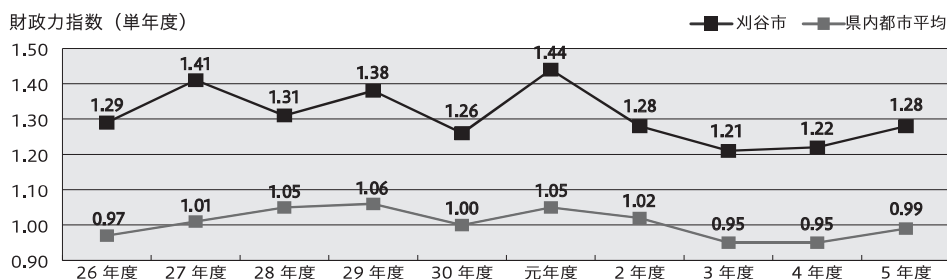
環境負荷及び維持管理経費の軽減を図るため、公共施設の照明機器について、リースによるLED化を促進します。

- 追加施設 ウィングアリーナ刈谷始め 33 施設
- リース期間 10 年

主な財政指標の推移

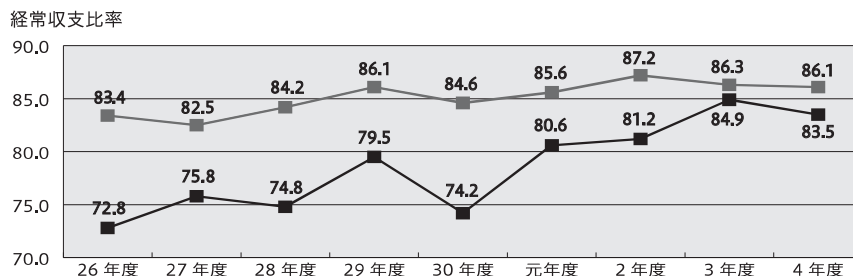
(1) 財政力指数

地方公共団体の財政上の能力を示す指数で、1を超えるほど財政に余裕があります。



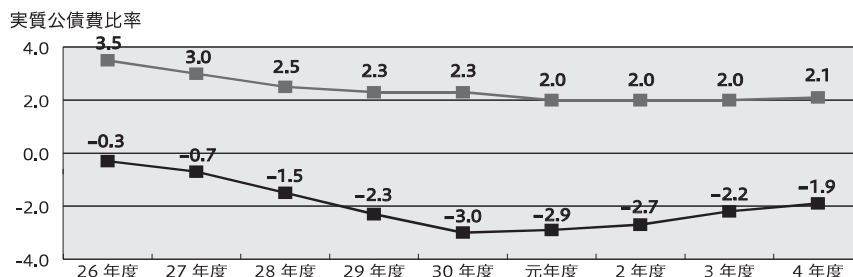
(2) 経常収支比率

地方公共団体の財政構造の弾性を測る指標で、人件費、扶助費、公債費などの経常的経費に市税などの一般財源がどの程度充てられているかをみるもので、この比率が増加すると財政運営は硬直化します。



(3) 実質公債費比率

一般会計や特別会計、企業会計の公債費に広域連合や一部事務組合における公債費を加えた実質的な公債費が、財政に及ぼす負担割合を直近の決算年度を含めた3カ年平均で表した指標で、この比率が低いほど財政が健全であるといえます。



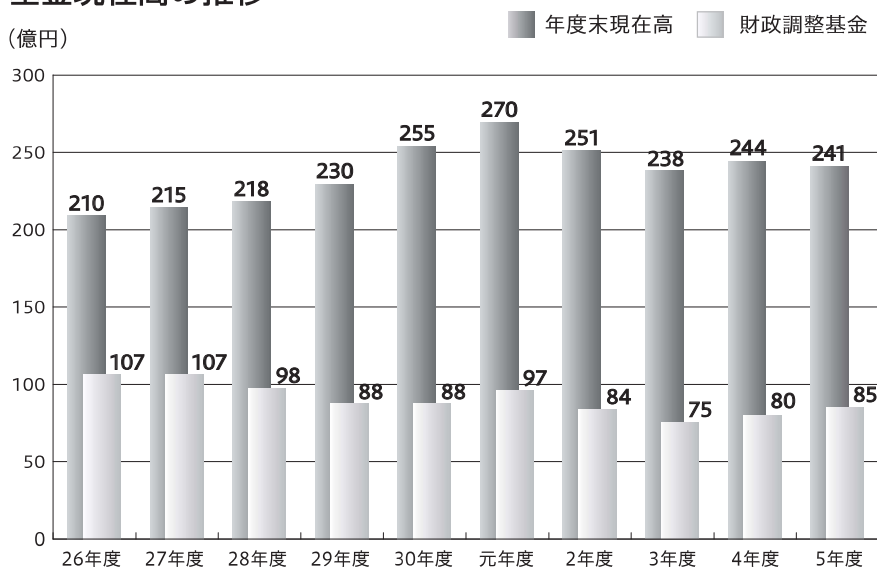
基金の状況

基金の現在高は、令和5年度末現在で、約240億8,000万円です。その内訳は、財政調整基金（約85億4,400万円）、公共施設維持保全基金（約57億5,200万円）、都市交通施設整備基金（約56億800万円）、亀城公園等整備基金（約16億8,000万円）が主なものです。

(単位：百万円)

基金現在高の推移

(億円)



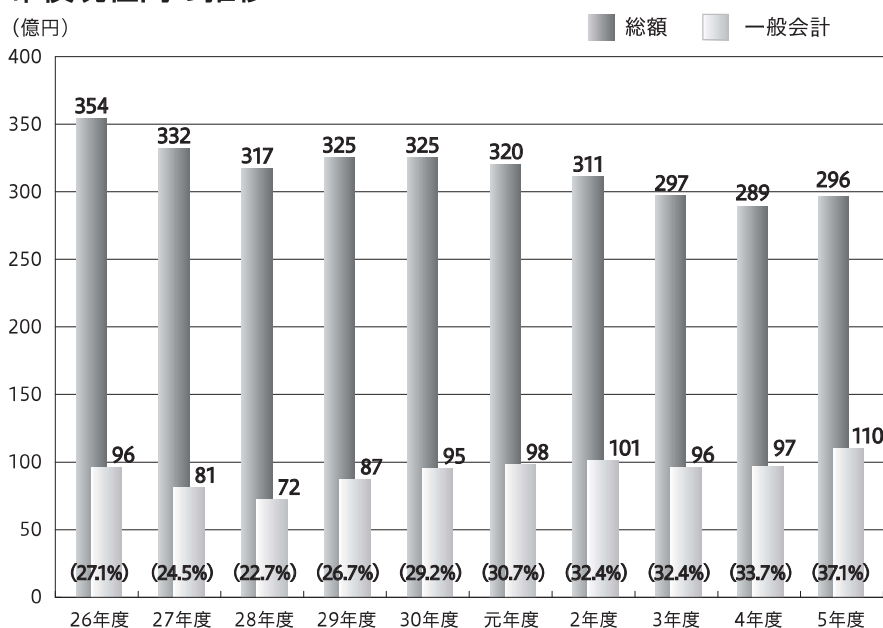
基金名	現在高
財政調整基金	8,544
国際交流振興基金	226
美術品等購入基金	597
地域福祉基金	251
国民健康保険基金	0
介護保険基金	313
緑化推進基金	316
市民活動支援基金	18
亀城公園等整備基金	1,680
公共施設維持保全基金	5,752
一般旅券収入印紙購入基金	10
都市交通施設整備基金	5,608
産業立地促進基金	725
加藤与五郎顕彰科学教育振興基金	40
合計	24,080

市債の状況

市債の現在高は、令和5年度末現在（見込み）で、約295億9,600万円です。そのうち、一般会計は、約109億7,700円で37.1%、下水道事業会計は、約151億4,000万円で51.2%を占めています。

市債現在高の推移

(億円)

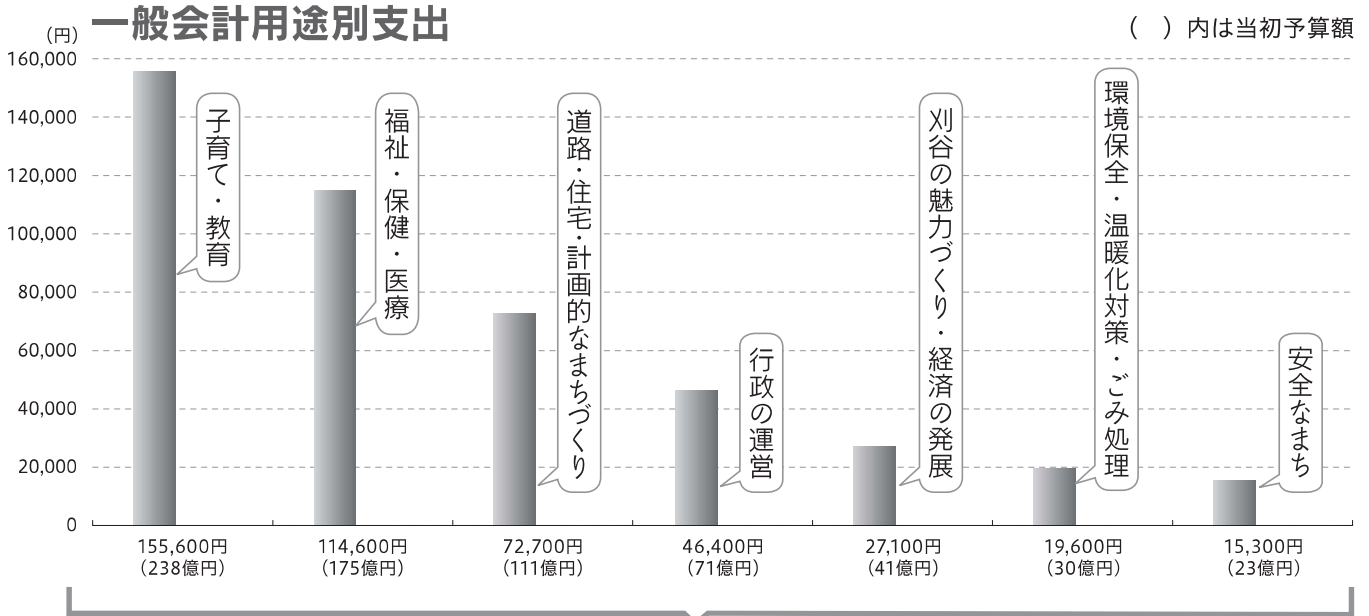


(単位：百万円)

会計名	現在高
一般会計	10,977
特別会計	2
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業会計	2
企業会計	18,617
水道事業会計	3,477
下水道事業会計	15,140
合計	29,596

市民1人当たりの予算額（用途別）

刈谷市の令和6年度予算総額689億円を、市民1人当たり（令和6年4月1日現在の人口152,682人）に換算すると451,300円となります。これは、市民生活の向上や地域経済の活性化などいろいろな目的の用途に使用されています。用途の中で最も多いものが、子育て・教育分野で155,600円、次に福祉・保健・医療分野に114,600円、そして、道路・住宅・計画的なまちづくり分野に72,700円の順となっています。なお、金額は端数を調整しています。



市民1人当たりに使われる予算額 **451,300**円 一般会計予算額 **689**億円

刈谷市の家計簿

刈谷市の令和6年度一般会計当初予算を、年収530万円(月収44万2,000円)のご家庭に例えて、1ヵ月の家計簿を作成しました。

刈谷市の1ヵ月の家計簿

収入		支出	
給与	282,000円	食費(人件費)	83,900円
基本給(市税)	236,000円	医療費、保育料など(扶助費)	101,500円
諸手当(地方譲与税、県税交付金など)	46,000円	家のローン返済(公債費)	9,100円
家の修繕代の助成金、奨学金など(国県支出金)	84,000円	家財道具の買替え、家の修繕費など(施設等整備費、維持補修費)	86,800円
パート収入、家財の売却による収入など(使用料、手数料、財産収入、繰入金、諸収入)	55,000円	光熱水費、日用品、教育費など(行政運営費)	125,500円
家の修繕や車の買替えのための銀行からの借金(市債)	21,000円	1人暮らしの家族への仕送り(繰出金)	35,200円
合計	442,000円	合計	442,000円

家族の医療費(高齢者・児童福祉などの扶助費)、ローンの返済(公債費)、食費(人件費)の3つは、「義務的経費」と呼ばれています。この義務的経費が多いことは、家計にあまり余裕がないことを意味します。刈谷市の歳出総額に占める義務的経費の割合は約4割であり、県内市町村の平均割合約5割と比較すると低く、健全な財政であることを示しています。

OUTLINE OF BUDGET 2024

